



TOP &gt; 中野人 &gt; 【中野人インタビュー】中野区観光協会観光大使 ブル中野氏

シェア

ツイート



## 【中野人インタビュー】中野区観光協会観光大使 ブル中野氏

2022.03.15 UP 投稿者：まるっと中野編集部

[中野人]



空前の女子プロレスブームだった1980年後半から90年代にかけて、ヒール軍団「極悪同盟」として活躍した元女子プロレスラーのブル中野さん。2017年からJ:COMで放送されていた、中野にゆかりのある人物を紹介する番組「中野人図鑑」でMCを務めており、2018年には中野区観光協会観光大使にも就任しています。今回はそんな中野にゆかりのある、ブル中野さんにお話をお伺いします。

### トップヒールとして時代を築いた女子プロレスラー時代



## -女子プロレス、当時はすごい人気でしたね

「1980年代半ばから、クラッシュギャルズといったアイドルレスラーの登場により女子プロレスは大ブームとなりました。そんなアイドルレスラーに対抗して作られたのが極悪同盟というヒール集団だったんです。ダンプ松本さんをリーダーに、激しいプロレススタイルと、パンク調の独特な風貌がヒットして社会現象にもなりましたね。私は中学1年生のときに女子プロのオーディションに合格し、入門。修行を続けていたのですが、16歳の時にヒールレスラーになることを命じられて。初めはヒールレスラーになるのは絶対嫌だったのですが…まあそこは体育会系ですからね（笑）でも私はもともと“行動は何事も自分で決めて、しっかり自立した人生を歩みたい”という気持ちが強かったので、最終的に覚悟を決めたあとは、自分の意志でヒールレスラーとしての自分を高めることに真剣に向き合っていました。」

「女子プロレスを引退した後は、いろいろなことにチャレンジしていましたが、2010年に知り合いからの紹介で中野で飲食店を始めたんです。小料理屋「中野のぶるちゃん」というお店です。中野と深い関わりができたのはこの辺りからですね。」

## -ブル中野さんのリングネームにも「中野」が入っていますがやはり「中野区」が関係しているんですか？

「私はもともと赤羽生まれで、その後神奈川県逗子市、埼玉県川口市で育ちました。女子プロレスラー時代は目黒区に住んでましたし、2010年ごろまでは中野にはそれほど縁がなかったんです。リングネームのブル中野の“中野”は結婚前の旧姓なんです（笑）」

## 中野に住む人たちの影響で、中野が好きになっていった

### -ブル中野さんから見て、中野の印象はどうか？



「私の中野のまちのイメージって最初は、“1万円あったら3件はしごできるくらい飲食店が多くて安く楽しめるまち”でした（笑）。実際お店を構えてわかったのは、人がすごくあったかいんですね。下町っぽいというか、見栄をはる人が少なく、本音で付き合えるまちなんだなあ、って。お店を出した時は、興味本位でひかやしくる人も多く、結構苦労もしたのですが、中野のまちの人のやさしさにはずいぶん助けられました。人柄がいいんですね、親しみやすい人がほんと多いです。」

「それに、“サブカルのまち・中野”という個性はとても素晴らしいと思います。中野ブロードウェイは私も好きで、ちょくちょく来ているのですが、常に変化に溢れ、来るたびに新しい楽しみに出会えます。プロレスのマスク

やプロマイトを売っているお店があるのも個人的にグッドです（笑）。あと、中野は中野ブロードウェイや中野サンプラザがある、中野駅北口方面が注目されがちですが、中野駅周辺の再開発で、南口方面がどんどん発展して行くことに私は期待しています。北と南ってまちの雰囲気も結構違うんですけど、その両エリアをつなぐことで新しい人の流れができ、新しいまちの活性化が生まれると思うんです。」

–すっかり中野が気に入ってしまった、といった様子ですね？



「私はJ:COMさんの『中野人図鑑』という番組のMCを4年以上勤めさせてもらいましたが、そこで200人以上の中野人に話を聞いてきました。その人たちに共通して言えるのが、みんな中野が本当に大好きなんですよ。みんな中野の魅力についていくらでも話ができるって感じで。結果、私はその人たちから中野の魅力を教えてもらうことで、ますます中野のことが知りたくなっていったんです。中野がどんどん好きになっていったんですよ。それから、正直、私は今までボランティアや地域活動というものにそれほど意識が向くことはありませんでした。でも中野人図鑑でお話を聞いてきた人たちの、中野でのさまざまな活動を聞いているうちに、意識が変わっていきました。中野通りの桜のPRに取り組んでいる人たちがいる、まちをキレイにしている人たちがいる、まちをもっと盛り上げようとしている人たちがいる…。それを聞いて、感動したんです。私も、このまちに対して何か関わっていきたい、と意識が変わっていったんです。そんな時、中野区観光協会さんから観光大使のお話をいただき、私は“是非に”と協力させていただきました。今は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、日本人だけでなく外国人観光客も大幅に減り、観光という視点では日本中大変な状況になっています。そんな中でも、できることはあると思います。なので、中野区の今後の新しい動きに期待していますし、自分でできることであれば協力したいと思っています。『バーチャル観光』なんていうのもいいかもですね。その時は私がバーチャルガイドツアーをやりますよ！（笑）」

【中野区のお気に入りスポット】



「私は中野四季の森公園がお気に入りです。ここは本当に東京都心部なの！？と思うくらい広い公園で。四季折々の綺麗な景色が楽しめますし、家族連れがピクニックしている光景を見かけるのも楽しい気分になりますね。今は新型コロナウイルス感染症で開催されていないですが、“中野にぎわいフェスタ”というイベントもこの四季の森公園でやっていて、お店や出し物がたくさんあってすごく楽しいんです。もし可能なら、いつかプロレスのイベントを開催しても…盛り上がるかもしれませんね！（笑）」

★今回の中野人

**ブル中野**



元女子プロレスラー。

アメリカWWF世界女子王座を獲得した唯一の日本人女子レスラー。

中野ゆかりの人物を紹介するJ:COMの番組「中野人図鑑」ではMCを務める。

2018年中野区観光大使に就任。

---

※問い合わせ先の記載がない記事については、まるっと中野編集部までお問い合わせ下さい。

掲載場所近隣の区民の皆様にご遠慮いただきますよう、お願い申し上げます。

※掲載情報は全て記事取材当時のものです。